

令和4年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

産学官のすべての研究者に開かれた研究設備・機器の実現に向けて、大学・研究機関の先進的な取組を紹介し、前半は、「**先端研究設備プラットフォームプログラム**」に関して、国内有数の先端的な研究施設・設備において、全国的なプラットフォームを形成することで、我が国の研究開発基盤の持続的な維持・発展に貢献する活動、後半は、「**コアファシリティ構築支援プログラム**」に関して、大学・研究機関全体として、研究設備・機器群を戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化するための活動を紹介し、

日時 令和5年1月25日（水）13時30分～17時45分

会場 オンライン開催（Zoom予定）

締切 令和5年1月18日（水）



主催

文部科学省

共催

研究基盤イノベーション分科会 (IRIS)
 研究基盤協議会 (CORE)

----- プログラム -----

13:30 ~ 13:35 開会挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局長 柿田 恭良

13:35 ~ 14:30 「先端研究設備プラットフォームプログラム」（発表7分・質疑応答3分×4機関）

～取組による成果及びデータ共有・利活用への発展について～

NMR-PF	木川 隆則	(理化学研究所 細胞構造生物学研究・チームリーダー)
顕微イメージングソリューションPF	塚本 尚義	(北海道大学・理学院/創成研究機構・教授)
パワーレーザー-DX-PF	藤岡 慎介	(大阪大学 レーザー科学研究所・副所長/教授)
研究用MRI共有PF	齋藤 茂芳	(大阪大学 医学系研究科・准教授)

14:30 ~ 14:35 休憩 (5分)

14:35 ~ 14:45 「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドラインについて」 (仮)

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

14:45 ~ 16:50 「コアファシリティ構築支援プログラム」

～共用ガイドラインにおける各観点について取組状況や課題について～

テーマ① 戦略的設備整備・運用計画の策定と活用 (発表6分・質疑応答3分×3機関)

東京農工大学	西河 淳	(学術研究支援総合センター長 兼 スマートコアファシリティ推進機構長)
金沢大学	中村 慎一	(理事 (研究・社会共創・大学院支援担当) /副学長)
広島大学	楯 真一	(大学院統合生命科学研究科 教授)

テーマ② チーム共用の推進と共用体制の確立 (発表6分・質疑応答3分×3機関)

東北大学	小谷 元子	(理事・副学長 (研究担当))
信州大学	向 智里	(理事 (研究、産学官・社会連携担当) 、副学長)
琉球大学	平井 到	(研究基盤統括センター 副センター長/医学部 教授)

テーマ③ 人材の観点 (技術職員の活躍促進、人材確保等) (発表6分・質疑応答3分×3機関)

東京工業大学	渡辺 治	(理事・副学長 (研究担当) /オープンファシリティセンター長)
長岡技術科学大学	田中 諭	(分析計測センター・副センター長)
大阪大学	古谷 浩志	(コアファシリティ推進室 副室長/科学機器リノベーション・工作支援センター 准教授)

テーマ④ 財務の観点 (利用料金の設定・活用、機器の維持メンテナンス予算の確保等) (発表6分・質疑応答3分×3機関)

早稲田大学	若尾 真治	(理事 (研究推進担当))
名古屋市立大学	中川 秀彦	(共用機器センター長)
筑波大学	新井 達郎	(オープンファシリティ推進機構副機構長/特命教授)

16:50 ~ 17:40 パネルディスカッション (3機関) (50分)

テーマ: 「**共用ガイドラインの活用と持続可能な発展に向けて**」

ファシリテーター: 東京工業大学	江端 新吾	(総括理事・副学長 特別補佐/教授)
パネリスト: 北海道大学	網塚 浩	(技術支援・設備共用コアステーション(CoSMOS) ステーション長/ GFC センター長 教授)
東海国立大学機構	古賀 和司	(統括技術センター 技術支援統括室長)
山口大学	上西 研	(理事・副学長 (学術研究担当))

17:40 ~ 17:45 閉会挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課 課長補佐 林 周平

以下の事前登録フォームからお申込みください

参加申込方法

<https://iris.kagoyacloud.com/riexpo2023/>

